

生きていく力って  
何だろう。

あなたには本音を話せる人はいる？

一人で悩んでばかりじゃダメ

子どもが何も話してくれないから、分からなくて...

【講演会】

# 泣きたい時に 泣ける場所が ありますか？

～苦しい時、辛い時、  
「助けて」って言える人に  
育てたい。～

平成 29 年

5月13日(土)

10時～12時

仲田の森蚕糸公園にて

(日野市日野本町 6-1-3 / 仲田小・ふれあいホール隣)  
雨天時は、隣接する日野市市民の森ふれあいホール  
コミュニティルーム2-(2F)で開催します。

講師

西野 博之 氏

川崎市子ども夢パーク所長  
NPO 法人フリースペースたまりば理事長  
フリースペースえん代表

入場無料・申込不要

主催 / NPO 法人子どもへのまなざし

※当日は「なかだの森であそぼう！」開催日ですが、なかだ鍋はありません。午後も遊ぶ方はお弁当などをお持ち下さい。

「自分自身に満足できない」と感じる日本の子どもが約 **6割**。

「悲しい、憂鬱だ」と感じる日本の子どもが約 **8割**。(内閣府「子供・若者白書」平成26年度版)

今、私たち大人は何ができるだろう。

こどもや若者たちに

「自己肯定感」を問うた国際調査があります。

「自分自身に満足」約4割強。

「自分には長所がある」のは約7割。

**約6割が「自分に不満足」、  
約3割が「長所がない」という。**

限られた地域、国民性や文化、  
社会的背景も違うけれど、  
僕らに日々聞こえてくる  
子どもたちの声と重なります。

子どもの自殺者数は

長いスパンで見れば減ったけれど、  
それでも見逃せる数ではありません。

さらに、**その数に表れない**

**じつに多くのこどもたちが**

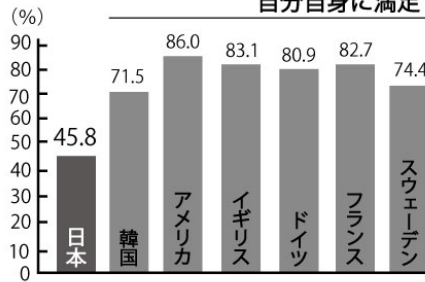
**生きづらさをかかえている。**

**これは、今の時代の厳しさを表しています。**

豊かな社会と言われる中で。

西野博之著『10歳からの見守りBOOK』より

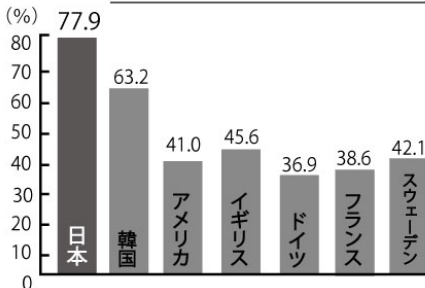
自分自身に満足している割合



日本の若者のうち、自分自身に満足している者の割合は5割弱、自分には長所があると思っている者の割合は7割弱で、いずれも諸外国と比べて日本が最も低い。

(内閣府「子供・若者白書」平成26年度版より)

憂うつだと感じた割合



この1週間の心の状態について、憂うつだと感じた日本の若者の割合は8割弱で、諸外国と比べて相対的に高い。そうした傾向はどの年齢層でも同様に見られ、特に10代前半では突出して諸外国より高くなっている。

(内閣府「子供・若者白書」平成26年度版より)

『居場所』にこだわり  
創り続けてきた人です。

今回の講師  
**西野 博之氏**

欠点いっぱい私でも、  
そのまんまの私を認めてほしい。  
丸ごと愛してほしい。  
「生まれてくれてありがとう。  
あなたがいてくれて、幸せだよ。」  
僕は、何度もこのフレーズにたどりつく。  
思春期だからこそ、小手先ではダメなんだ。  
私たちは、もう一度この言葉から  
子どもたちと向き合いたい。

—西野博之著  
『10歳からの見守りBOOK』より

30年以上にわたり、生きづらさを抱えた子どもたち、  
子育て世代の私たちに寄り添って居場所を創ってきた西野さん。  
当団体での講演会も今回で3回目となりました。毎回、温かいまなざしで一人ひとりに話しかける姿が印象的です。前回の参加された方の感想を少しだけご紹介いたします。

「生まれてきてくれてありがとう」  
の言葉が身に沁みます。  
怒ってばかりいる5年生の長男の  
顔が浮かび、涙が出ました。

自分が子どもにしていた、  
様々なことが逆効果だったなど  
気付きました。

「お母さん、笑ってる？」と毎日  
子どもに聞かれることが  
しんどくてすがる思いで  
聞きにきました。

子育てしていると正論というのを  
全面に出し始めていて  
子どもに重圧を与えてしまっ  
ていた自分に気付きました。  
昨年子どもが不登校になっ  
てその状況を抜け出しましたが、  
自分がその時に気付かなかった  
ことを西野さんに気付かせて  
いただいたと思います。

もっともっと我が子が  
愛情を注ぎたくなかった。  
生まれてきてくれて  
ありがとう！！と言いたい。

ついつい日々の忙しさに、  
「生まれてきてくれた感動」を  
忘れていた自分がありました。  
ここに存在していることを  
感謝していきたいと思いました。

**NPO 法人子どもへのまなざしは、「子どもが主人公の居場所」を創り続けることで、  
子どもがいるからつながる「人の輪」を広げています。**

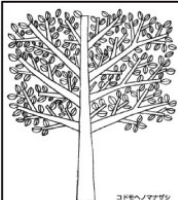
NPO 法人子どもへのまなざしでは、子育て真っ最中だからこそ学びたい、すべての子どもの育ちに関わる人と学びたい、と毎年、親育ち講演会の開催を重ねています。応援して下さる皆さんの存在が活動の支えとなっています。

会員や寄付は、子どものあそびをより豊かにするために使います。

詳細は…

NPO 子どもへのまなざし

■ 応援会員 3,000円/年 ■ 寄付 1口1,000円 (3口からの寄付をお願いしています)



「子どもが主人公の居場所」を創り続けよう！  
子どもがいるからつながる「人の輪」を広げよう！

NPO 法人

**子どもへのまなざし**

〒191-0024

東京都日野市万願寺 1-25-8

TEL 050-3721-1973

(月～木・13:00～17:00)

<http://manazashi2009.sakura.ne.jp/>